



2023年12月18日

各 位

会社名 株式会社ジーエヌアイグループ  
代表者名 取締役代表執行役社長兼CEO イン・ルオ  
(コード番号: 2160 東証グロース)  
問合せ先 執行役 CFO 北川 智哉  
(TEL. 03-6214-3600)

### Gyre CEO 交代のお知らせ

株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」、当社の子会社および関連会社を含んで「当社グループ」）の子会社であるGyre Therapeutics, Inc.（以下「Gyre」、旧Catalyst Biosciences, Inc.）が、現CEO Charles Wu博士が健康上の理由で退任し、新たにHan Ying博士をCEOに選任する旨、米国証券取引委員会に対し、フォーム8-K（日本の適時開示相当）を2023年12月15日に提出しましたので、お知らせいたします。

当社から従前より開示しておりますとおり、Gyreは、当社グループにおいて次期主力製品となる見込みの化合物であり、北京コンチネント薬業有限公司（以下「北京コンチネント」）が中国でB型肝炎による肝線維症を適応症とする第Ⅲ相臨床試験を行っているF351（一般名：ヒドロニドン）の代謝障害関連脂肪肝炎（MASH\*：Metabolic Dysfunction Associated Steatohepatitis）に伴う肝線維症を適応症とする臨床及び事業開発を米国で行う使命を帯びており、当社グループの更なる成長をけん引することが期待される重要な子会社です。新たにGyreのCEOとなるHan Ying博士は、免疫学の専門家であり、製薬産業、バイオテクノロジーの新興企業経営や同分野のベンチャーキャピタルなどの分野で20年以上の豊富な経験を持っております。今回のGyre人事異動におきましても、当社グループのGyre株式の持ち分には変わりなく、Gyre会長は当社社長のYing Luo博士が務め続けます。GyreがHan Ying博士の下、当社グループの戦略を着実に遂行し、グループ全体の発展につなげられるよう、当社といたしましても、一層密接に支援、協同してまいります。

\*:MASHは以前NASH（非アルコール性脂肪肝炎）と呼ばれていた疾患の病名が変更されたものです。上記日本語訳は仮称です。

Gyreの8-Kは、以下のリンクをご参照ください。

<https://ir.gyretx.com/node/15586/html>

Gyre 8-Kの主要部分参考訳を以下に添付いたします。

#### 『代表取締役社長の就任』

2023年12月13日、Gyre Therapeutics, Inc.（以下「Gyre」）は、2024年1月15日付で、Charles Wu博士の後任としてHan Ying博士をGyreの最高経営責任者に任命いたしました。Wu博士は、健康上の理由により、Gyreを退職いたします。

Han Ying博士は59歳で、現在Gyreの取締役を務めております。Han Ying博士は、免疫学、製薬産業、バイオテクノロジーの新興企業、運営管理、プロジェクトのリーダーシップ、資金調達などの分野で20年以上の経験を持っております。Ying博士は現在、Gene Corporation及びBase Therapeuticsの取締役を務めており、更に、Base Therapeuticsの共同創設者であり、2021年から最高執行責任者を務めております。2020年から2021年までは、Tactiva Therapeuticsの最高技術責任者を務めました。2017年から2019年まで、Han Ying博士はT-Cure Bioscienceの科学創設チームのメンバーとして、またSanpower Groupの生物医学分野の最高科学責任者を務めました。2020年、Han Ying博士はPanacea Ventureのベンチャーパートナーでした。1999年から2022年まで、Han Ying博士はマキシム・ダニッツ脳神経外科研究所で主任研究員を務め、悪性脳腫瘍に対する樹状細胞ワクチンの治験を実施する臨床検査室を監督いたしました。2002年から2007年までは、Berlex Biosciencesのがん研究部門でプロジェクトリーダーを務めました。2007年から2009年まで、Han Ying博士は、選択された患者様向けに新規標的薬のバイオマーカーを開発するオーダーメイド医療会社であるMonogram Biosciencesに勤務しておりました。2010年、Han Ying博士はImmunotech Biopharm Ltdの最高科学責任者を務めました。2012年、Han Ying博士は、樹状細胞ワクチンと抗原特異的T細胞に焦点を当てたバイオテクノロジー企業Immunnovaを共同設立いたしました。Han Ying博士は、HRYZ、Sanpower Group、Sino Biowayなど、がん免疫療法の分野で初期および後期段階のいくつかのバイオテクノロジー企業のコンサルティングを行っており、2017年にSanpowerによるDendreonの買収を完了した国際合併買収チームの主要な技術専門家でした。Han Ying博士は、スタンフォード大学でがん生物学の博士号を、北京大学で生物学の学士号と修士号を取得し、(米国の) 国立がん研究所でポストドクター研修を修了しました。

Han Ying博士と他の関係人物との間には、彼が役員として選出されたことに基づく取り決めや合意は存在せず、Han Ying博士はGyreの取締役または執行役のいずれとも血縁関係はありません。また、同氏は、(米国の) 規制S-Kの第404条 (a) に従って開示が義務付けられている取引に対して、直接的または間接的に重要な利害関係を持っていません。上記に関連するHan Ying博士の基本給は350,000ドルとなります。Han Ying博士には、自己都合でない退職の場合には、(給与) 12か月分の退職金を与えられます。

#### *最高経営責任者および取締役の退任*

Gyreからの辞任および退社に関連して、Charles Wu博士は、2024年1月15日付でGyreの取締役及びGyreが間接的な支配権を有する北京コンチネントの取締役を退任いたします。Wu博士の退任は、当社の業務、方針、慣行に関する当社との意見の相違によるものではありません。』

(参考訳と原文の間に内容の相違がある場合は、原文の内容が優先しますことをご了承下さい。)

以上